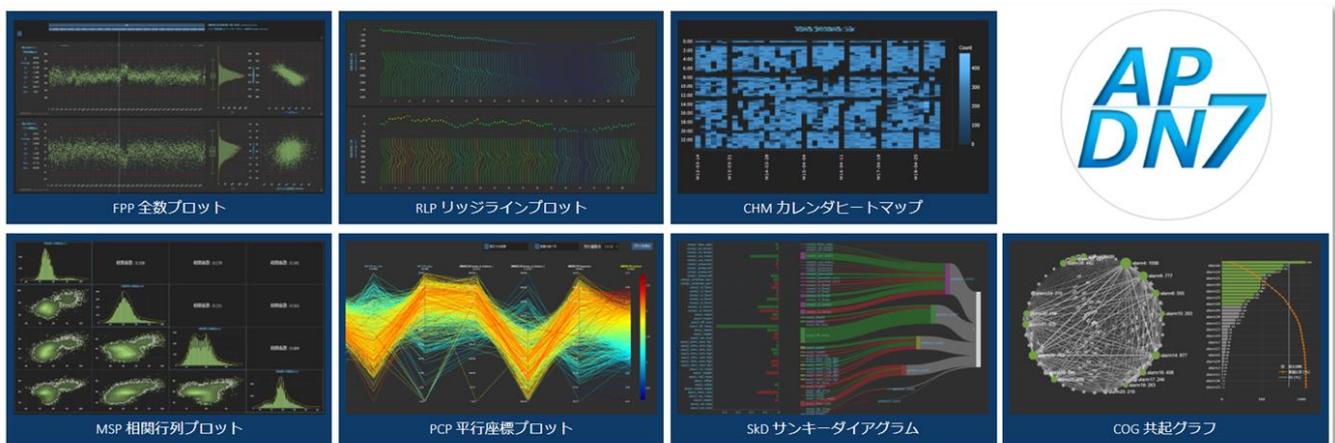


AnalysisPlatform+ DN7

AP+DN7

Getting Started (OSS)

分析プラットフォームは、工場の IoT データをインポート/紐付け/可視化するためのオープンソースの Web アプリケーションです。複数のデータソースからデータを収集、紐付け、統合するのに役立ちます。データ可視化の機能には、製造データの分析に特化した DN7(Digital Native QC 7 Tools) が含まれています。現場に眠っているデータをフル活用して、データに基づいた工程改善を始めましょう。



目次

1. 本アプリについて	3
2. 動作環境	4
3. 導入方法	5
3.1. インストーラの入手	6
3.2. インストーラの実行	7
“start_ap.bat” のショートカットと Web ブラウザのショートカット	12
4. アプリの起動/停止	13
4.1. 起動	13
4.2. 停止	14
4.3. プロキシ/ポート番号/言語など起動時の設定方法 (オプション)	15
5. サンプルデータの可視化	17
6. アップグレード	18
6.1. 前提	18
6.2. アップグレード実行	18
アップグレード後のフォルダ、ポート番号について	20
アップグレード作業の一例	21
7. アンインストール	22
8. トラブルシューティング	23
8.1. AP+DN7 を手動でインストールする	23
8.2. AP+DN7 を手動でアップグレードする	24
8.2.1. 前提	24
8.2.2. 新しいファイルの入手	24
8.2.3. 設定の移行	26
8.2.4. 新バージョンの起動	28
8.3. 起動時のトラブル	29
8.3.1. “start_ap.bat” と Web ブラウザのショートカットが生成されない	29
8.3.2. AP+DN7 を起動後、ブラウザに白背景、文字だけの画面が表示される	31
8.3.3. “ポートが開いていません” というエラー画面が表示される	31
8.3.4. “ImportError: DLL load failed: 指定されたモジュールが見つかりません。” というエラーメッセージが表示され、分析プラットホームの起動に失敗する	エラー! ブックマークが定義されていません。

1. 本アプリについて

AP+DN7 は、複数のデータを紐付け、可視化/分析する Web アプリケーションです。

工場のデータの多くは、ライン/工程ごとに別々のデータベース/テーブル/CSV に分かれて保存されている場合があります。たとえば、クレームが発生した製品を対象として前工程に遡り（トレースバック）原因を特定することがありますが、散らばって保管されている工程のデータをひとつひとつ紐付けるのが大変な手間になっています。

本アプリは、ブラウザ上で工程間のデータのつながりを簡単に設定し、設定内容に基づいてデータを読み込み、紐付け、可視化、分析を行います。これにより複数工程にまたがるデータの分析を容易にし、現場の改善活動に貢献できることを目指しています。

現在提供している機能は以下の通りです。

データの読込	SQLite, PostgreSQL, Microsoft SQL Server, Oracle Database, MySQL, CSV, TSV, SSV (EU 向け)
データ紐付	トレースフォワード、トレースバック、複数キーによる紐付、紐付予測、時間紐付
データ見える化	全数プロット / 層別プロット / リッジラインプロット / カレンダーヒートマップ / 散布図行列 / 散布図 / 平行座標プロット / サンキーダイアグラム / 共起グラフ / 集計プロット 等
分析	異常検知: 主成分分析 (PCA)
テーブル表示	データベース内のテーブル、CSV/TSV の一部を確認可能
フィルタ設定	ライン、設備、品番、その他の各フィルタの設定
マスタ設定	グラフの上下限閾値、上下限工程内閾値、描画範囲を設定
ジョブ一覧	データのインポートや紐付けなどの進捗を表示

!!注意

- 接続するデータベースの設定次第ではデータの読込みに時間がかかり、データベースに負荷がかかる恐れがあります。最初のアプリ立ち上げは 1 台ずつ、1 時間おきに実施してください。
- 分析プラットフォームは内部にバッファ用のデータベースを作成し高速アクセスを可能にする設計になっています。そのため、アプリの内部データベースは工程のデータを大量に読み込ませると、使用するディスク容量が数十 GB に達することがあります。CSV 等を単発で読み込む際などは気にする必要はありませんが、年間の製造データなどを読み込ませる際には十分な空き容量がある PC でご利用ください (ハードディスクの空き容量が一定量を下回ると分析プラットフォームは警告後自動的に読込を停止しますが、その時点での他の場所への移動は難しい場合があります)。

2. 動作環境

AP+DN7 は、以下の環境での動作を確認しています。

OS	Windows 10 Enterprise (64 ビット) ※Linux、MacOS には対応していません
CPU	Intel Core i5-1245U 1.60 GHz
メモリ	16GB
ディスク容量	235 GB SSD (10%以上の空き容量が必要です。空き容量が 10%を下回った場合、ディスクが満杯になることを防ぐため自動的にデータの読み込みを停止します)
Web ブラウザ	Microsoft Edge 128.0.2739.79 (公式ビルド) (64 ビット) (Google Chrome でも動作します)

- ※ 多数のユーザが接続することが見込まれる場合、Windows Server の導入を推奨します
- ※ Windows Server 2022 で動作確認済

3. 導入方法

AP+DN7 は、インストーラ（バッチファイル）を使用することで簡単に導入できます。

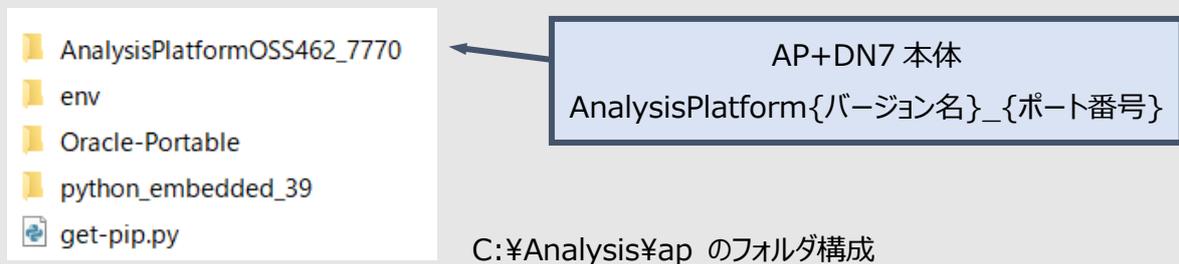
最新バージョンの入手・フォルダの解凍・アプリの起動まで自動的に実施されます。



- ※ 初回インストール時は AP+DN7 の動作に必要なソフトウェアをダウンロード・展開するためしばらく時間がかかります（数分から十数分）
- ※ インストーラではうまくいかない場合、手動での導入をご検討下さい（トラブルシューティング参照）

AP+DN7 は、デフォルトで `C:¥Analysis¥ap` にインストールされます。

AP+DN7 本体はフォルダ名: `AnalysisPlatform{バージョン名}_{ポート番号}` であり、AP+DN7 本体の設定ファイル、起動に使用するバッチファイルはこの中に格納されています。その他のファイルは AP+DN7 の動作に必要なソフトウェアが含まれているので、削除しないでください。



3.1. インストーラの入手

AP+DN7 の GitHub レポジトリを開いてください。

<https://github.com/apdn7/AnalysisPlatform>

このページの “Getting Started” の項、“APDN7_installer.zip” をクリックしてください。

APDN7_installer.zip のダウンロードが始まります。

Getting Started

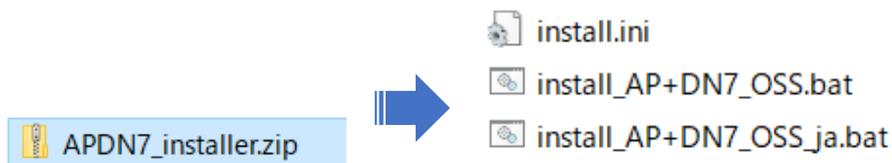
You can install AP+DN7 on your PC using installer (batch file)

- [APDN7_installer.zip](#)

For detailed instruction, please refer below documents (PDF):

- EN: [Getting Started](#) / [Data Import & Link Settings](#) / [FPP](#) / [FAQ](#) / [Quick reference](#)
- JA: [Getting Started](#) / [Data Import & Link Settings](#) / [FPP](#) / [FAQ](#) / [Quick reference](#)

APDN7_installer.zip を展開すると、3 つのファイルが現れます。インストール時の設定を行うファイルと、インストールを実行するファイルが 2 種類格納されています。



APDN7_installer.zip に含まれるファイル

各ファイルの説明

install.ini

インストール時のオプションを記載するファイル

install_AP+DN7_OSS.bat

インストールを実行するファイル。どちらか一方を選択してください。

install_AP+DN7_OSS_ja.bat

install_AP+DN7_OSS_ja.bat を使用すると、AP+DN7 のデフォルト言語が日本語に設定されます。

3.2. インストーラの実行

インストールの前に、必要に応じて設定を行うことができます。

特に企業内のネットワークからプロキシサーバを介してインターネットにアクセスしている場合、プロキシの設定が必要です。

インストール時の設定項目 (任意)

設定項目	説明	デフォルト値
path_main	AP+DN7 をインストールするフォルダのパス ※OneDrive 同期されていないフォルダを 指定してください	C:¥Analysis¥ap
path_data	読み込みたい CSV ファイル等を保存するためのパス	C:¥Analysis¥data
langu	表示言語	en (英語) ※install_AP+DN7_OSS_ja.bat を 利用する場合は、デフォルト=ja (日本語)
title	コンソール画面、Web ブラウザのタブ、 AP+DN7 のナビゲーションバーに表示される名前	DX QC7Tools
proxy	HTTP プロキシ	(無し)
proxys	HTTPS プロキシ	proxy と同じ値

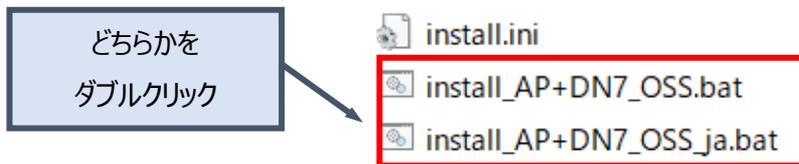
設定を行うには、install.ini ファイルに対して「右クリック>編集」を行いメモ帳を開くか、任意のテキストエディタで開いてください。該当する項目を修正した後、上書き保存してください。

```
12 ; Install Path (full path) ja:インストールパス
13 path_main=C:\Analysis\ap
14 path_data=C:\Analysis\data
15 ;; Database takeover source: new/latest/(path) ja:データベース引継元
16 path_conf=latest
17 ;path_conf=C:\Analysis\ap\AnalysisPlatformOSS462
18 ;; ja:引継設定 new:引継なし latest:現状の最新(名前順) (path):実際のパス指定
19
20 ; Default StartUp Language ja:起動言語
21 langu=en
22 ;langu=jp
23 ;; Seletcet from en, ja, it, es, vi, th, hu, pt, ... (choose from AP+DN7 Selection)
24
25 ; Subtitle Note: Spaces are replaced with '_' ja:サブタイトル
26 title=DX QC7Tools
27 ;; 123456789012 Recommend using a maximum length of 12 (Only ASCII7)
28 ;; ja:最大12文字(英数半角のみ)までを推奨。スペースは '_' で置き換えてください
29
30 ; Proxy http ja:プロキシ設定 http
31 ;proxy=no
32 ;; proxy=no : Force to No Proxy
33 proxy=null
34 ;; proxy=null : Default or No Proxy
35 ;; If you have proxy, delete rem below and set your proxy address:port.
36 ;proxy=192.0.2.0:1080
37 ;proxy=proxy.example.com:8080
38 ;; proxy=xxx:80 : Force to use Proxy xxx with port 80
39 ;; Domain Name is also possible. Ex. proxy.example.com:3128
40 ; Proxy https ja:プロキシ設定 https
41 proxs=http
42 ;proxs=no
```

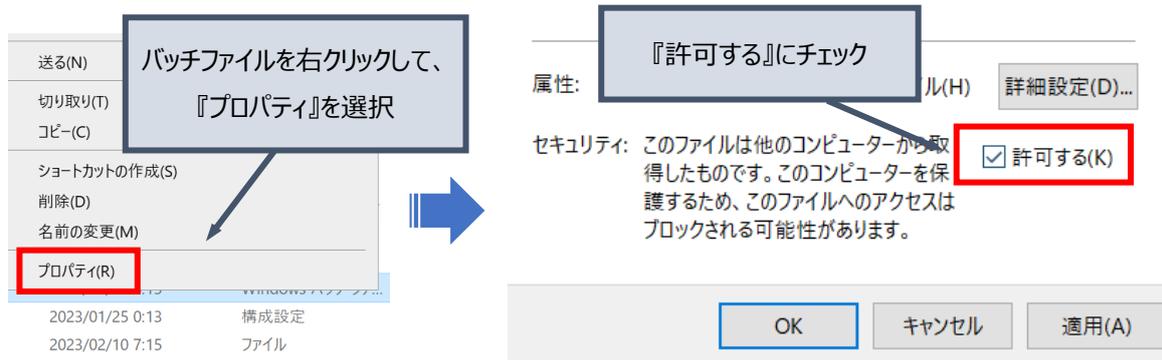
install.ini ファイルを編集することで、インストールの設定を行うことができます

必要な設定を行った後、インストールを行うには次のバッチファイルのどちらかをダブルクリックで実行します。

- install_AP+DN7_OSS.bat: デフォルト言語=en(英語)
- install_AP+DN7_OSS_ja.bat: デフォルト言語=ja(日本語)



Windows のセキュリティ機能により以下のような青い画面が出る場合があります。その場合、表示された青い画面内の『詳細情報』をクリックすると表示される『実行する』ボタンを押すか、"install_AP+DN7_OSS.bat" または "install_AP+DN7_OSS_ja.bat" ファイルをダブルクリックする前に、以下のようにファイルのプロパティからセキュリティの『許可する』にチェックを入れていただき、再度バッチファイルをダブルクリックするとアプリを起動できます。



バッチファイルの実行が開始すると、黒い画面（コマンドプロンプト）が現れます。この画面の裏では、ファイル一式の入手とファイル展開/設定が行われています。しばらくすると「初期起動シーケンスが終了し、インストール作業に移行します。」のメッセージが表示され、自動的に画面が消えます。



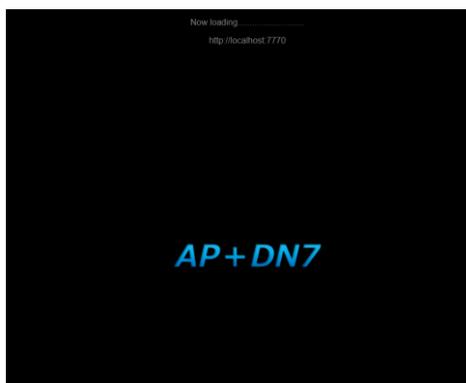
(しばらく待つ)

```
-----
The initial sequence has finished and it is moving on to installation.
This window will automatically disappear after a while.
初期起動シーケンスが終了し、インストール作業に移行します。
このウィンドウはしばらくしたら自動的に消えます。
-----

Waiting for 59 seconds, press a key to continue ...
```

正常に終了（黒い画面は自動的に消えます）

ファイル一式の入手・展開・設置が正常に完了した後、自動的に AP+DN7 が起動します。以下のように黒い画面（コンソール画面）と、Web ブラウザが立ち上がります。少し待つと Web ブラウザには起動画面が表示されます。初回起動時はアプリの動作に必要なソフトウェア/ライブラリのダウンロードを行うため、しばらく時間がかかります。AP+DN7 使用中は、この黒い画面は閉じないでください（最小化は OK）。 AP+DN7 の起動が完了すると、自動的に画面が切り替わります。

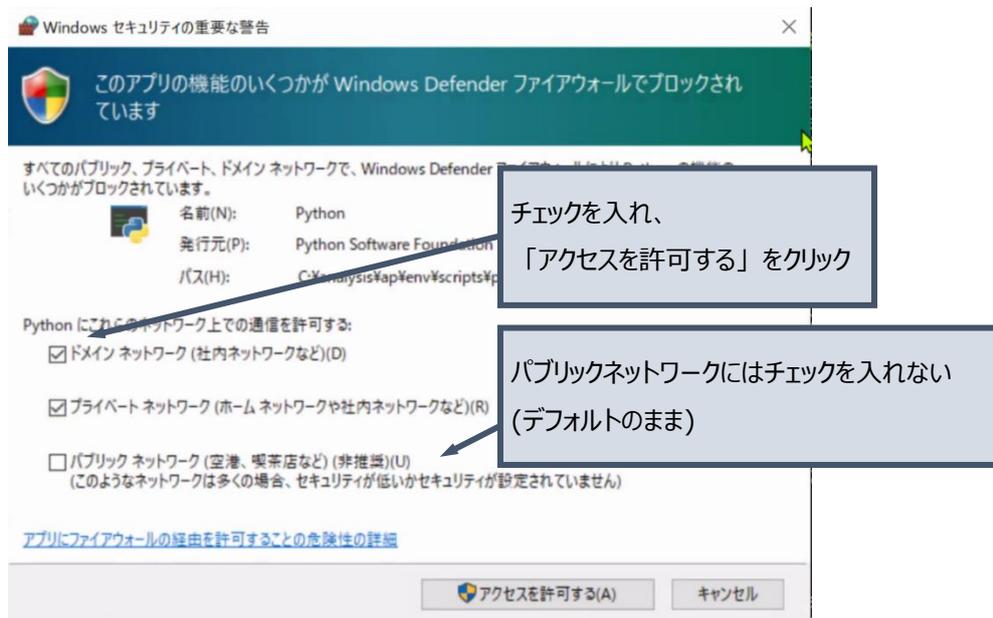


AP+DN7 起動画面（Web ブラウザ）

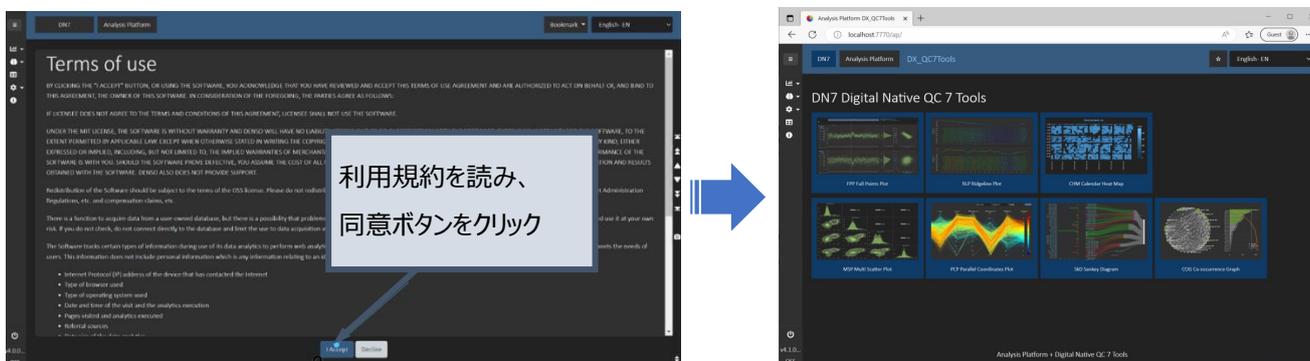
AP+DN7 の初回起動時、Windows のセキュリティに関するウィンドウが表示されます。

“ドメインネットワーク” “プライベートネットワーク” にチェックをし、“アクセスを許可する” ボタンを押してください。

セキュリティのため、“パブリックネットワーク” にはチェックを入れないでください。



しばらく待つと起動された Web ブラウザの画面がアプリに切り替わり、アプリを使い始めることができます。起動画面から数秒エラー画面に遷移する場合がありますが、しばらくお待ち頂くと AP+DN7 の画面に切り替わります (もし自動的に切り替わらない場合はブラウザの更新ボタンを押してください)。初回アクセス時/アップグレード時には利用規約の画面が出るので、利用規約をよく確認して頂き、『同意する』ボタンを押していただくとアプリのトップページが表示されます。Web ブラウザが起動していない場合、Google Chrome か Microsoft Edge で <http://localhost:7770/> にアクセスすると、起動した AP+DN7 に接続できます。



- ※ AP+DN7 を起動した PC の IP アドレス [例 <http://123.456.7.89:7770/>] またはドメイン名 [例 http://my_pc.ap.com:7770/] を用いると、他の PC から接続可能です
- ※ AP+DN7 の本体は起動時に現れた黒い画面なので、ブラウザを閉じて AP+DN7 は起動したままです

“start_ap.bat” のショートカットと Web ブラウザのショートカット

分析プラットフォームの起動時に、PC のデスクトップに “start_ap.bat” のショートカットと Web ブラウザのショートカットが自動で生成されます。Web ブラウザのショートカットは 3 種類生成されます：それぞれローカルホスト/IP アドレス/PC 名でのアクセス方法が設定されています。次回以降は、分析プラットフォームのフォルダに行くことなく、デスクトップからアプリの起動/アクセスが可能です。

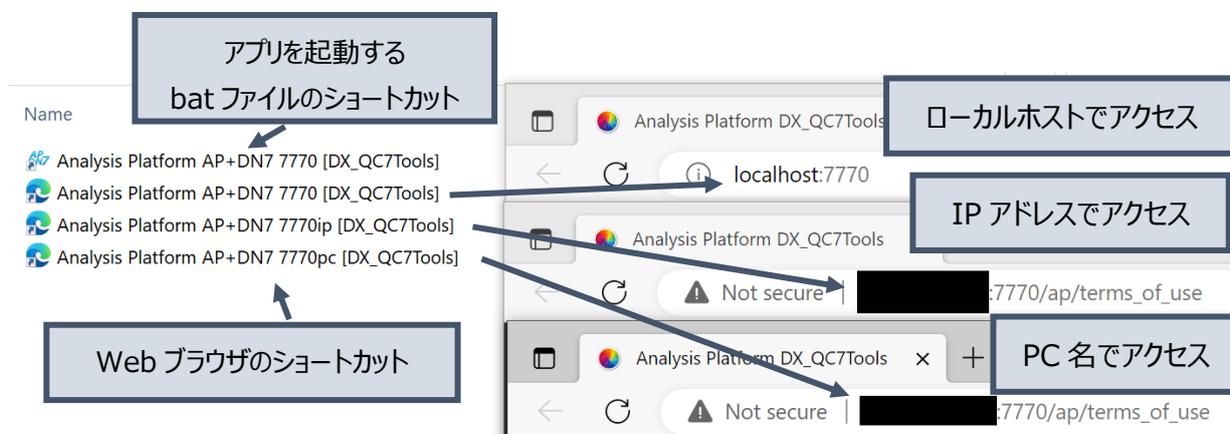
AP+DN7 を起動するために使用 (start_ap.bat のショートカット)

- (AP+DN7 のアイコン) Analysis Platform AP+DN7 7770 [DX_QC7Tools]

起動した AP+DN7 に接続するために使用 (Web ブラウザのショートカット)

- Analysis Platform AP+DN7 7770 [DX_QC7Tools]
 - AP+DN7 に、ご自身の PC で接続する際に使用
- Analysis Platform AP+DN7 7770ip [DX_QC7Tools]
 - AP+DN7 に、他の PC から接続する際に使用。
IP アドレスで AP+DN7 に接続する。IP アドレスは変わることがあるのでご注意ください。
- Analysis Platform AP+DN7 7770pc [DX_QC7Tools]
 - AP+DN7 に、他の PC から接続する際に使用。
PC 名 (例:my_pc)で AP+DN7 に接続する

※各 URL をブラウザのお気に入りに登録することで代用することもできます



4. アプリの起動/停止

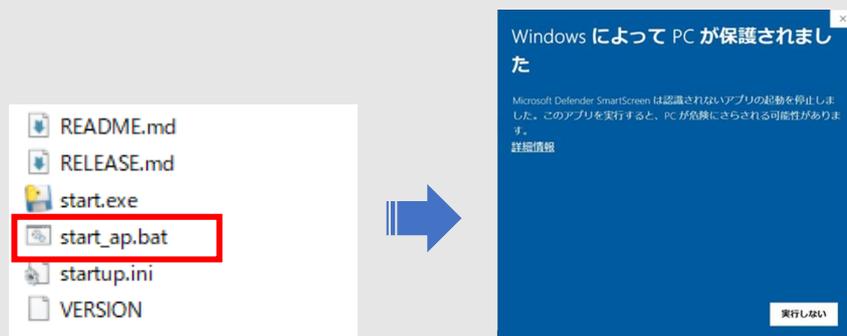
4.1. 起動

AP+DN7 本体のフォルダ (デフォルト: C:\Analysis\ap\AnalysisPlatform...) を開いてください。

その中の "start_ap.bat" ファイルをダブルクリックすると、アプリの起動が開始します。2 回目以降の起動の場合、デスクトップに生成された AP+DN7 のアイコンをダブルクリックすることでも起動可能です。



"start_ap.bat" を実行時、Windows のセキュリティ機能により以下のような青い画面が現れる場合があります。

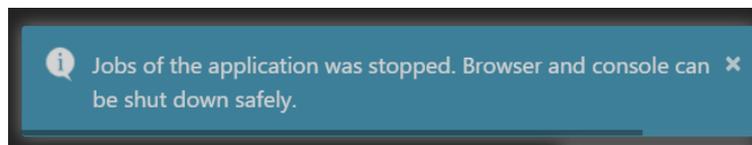
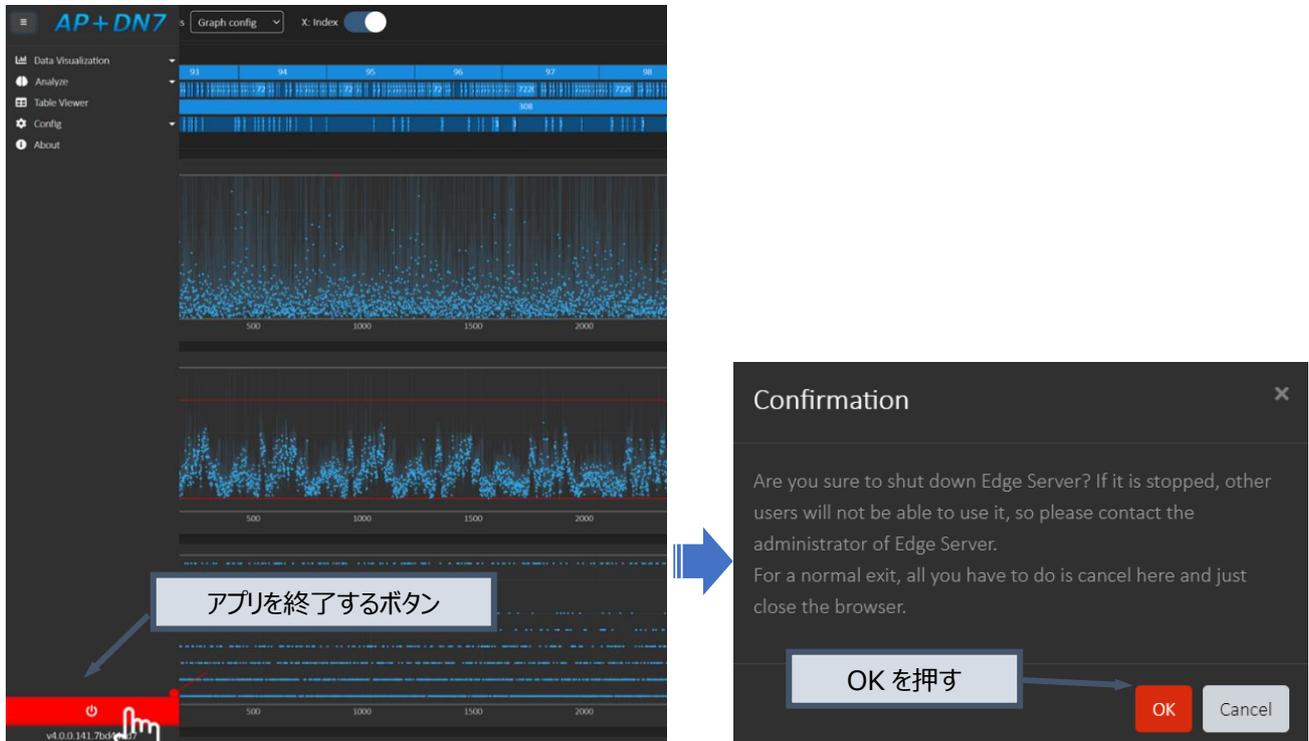


その場合、表示された青い画面内の『詳細情報』をクリックすると表示される『実行する』ボタンを押すか、"start_ap.bat" ファイルをダブルクリックする前に、以下のようにファイルのプロパティからセキュリティの『許可する』にチェックを入れていただき、再度 "start_ap.bat" ファイルをダブルクリックするとアプリを起動できます。



4.2. 停止

アプリを起動している PC で AP+DN7 に接続 (http://localhost:{ポート番号}/ 例: http://localhost:7770/) すると、画面左下に電源ボタンが現れます。アプリを停止したい場合は、この電源ボタンを押してください。確認画面が出るので、OK ボタンを押すとアプリが停止し、黒い画面 (コンソール画面) が自動的に閉じます。Web ブラウザは自動的に閉じないため、手動で Web ブラウザを終了してください。



正常に終了した場合、Web ブラウザ右下にメッセージが表示されます

しばらく待っても AP+DN7 が停止しない場合は、タスクバーに表示されているコマンドプロンプトのアイコンを右クリックし、“ウィンドウを閉じる” を選択してください。AP+DN7 を強制終了することができます。この場合も Web ブラウザは自動的に閉じないため、手動で Web ブラウザを終了してください。



4.3. プロキシ/ポート番号/言語など起動時の設定方法 (オプション)

"startup.ini" ファイルを編集することで、分析プラットフォームの起動時の設定を行うことができます。

" C:\¥Analysis¥ap¥AnalysisPlatform..." フォルダ内の "startup.ini" をテキストエディタで開いてください。

"startup.ini" ファイルの編集は、アプリを起動していない状態で行ってください。

プロキシ設定

社内からなど、プロキシを使用してインターネットに接続していて、かつ環境変数に該当のアドレスが登録されていない場合、適切なプロキシサーバのアドレスを指定する必要があります。

- HTTP プロキシ: 35 行目または 36 行目の ";" を削除し、適切な値に書き換えてください。
- HTTPS プロキシ: 47 行目または 48 行目の ";" を削除し、適切な値に書き換えてください。
HTTP プロキシと同じ値を利用する場合、41 行目の ";" を削除するだけでも設定できます。

修正前	修正後
29 ; Proxy http	29 ; Proxy http
30 prxy=no	30 prxy=no
31 ;; prxy=no : Force to No Proxy	31 ;; prxy=no : Force to No Proxy
32 prxy=null	32 prxy=null
33 ;; prxy=null : Default or No Proxy	33 ;; prxy=null : Default or No Proxy
34 ;; If you have proxy, delete rem below	34 ;; If you have proxy, delete rem below
35 ;prxy=192.0.2.0:8080	35 prxy=192.0.2.0:8080
36 ;prxy=proxy.example.com:8080	36 ;prxy=proxy.example.com:8080
37 ;; prxy=xxx:80 : Force to use Proxy x	37 ;; prxy=xxx:80 : Force to use Proxy x
38 ;; Domain Name is also possible. Ex.	38 ;; Domain Name is also possible. Ex.
39 ; Proxy https	39 ; Proxy https
40 prxs=http	40 prxs=http
41 ;; prxs=http : Use same setting as Pr	41 ;; prxs=http : Use same setting as Pr
42 ;prxs=no	42 ;prxs=no
43 ;; prxs=no : Force to No Proxy	43 ;; prxs=no : Force to No Proxy
44 ;prxs=null	44 ;prxs=null
45 ;; prxs=null : Default or No Proxy	45 ;; prxs=null : Default or No Proxy
46 ;; If you want to use different settin	46 ;; If you want to use different settin
47 ;prxs=192.0.2.0:8080	47 prxs=192.0.2.0:8080
48 ;proxy.examples.com:8080	48 ;proxy.examples.com:8080

修正前

修正後

HTTP プロキシ: ";" を削除し、書き換える

HTTPS プロキシ: ";" を削除し、書き換える

ポート番号の設定

分析プラットフォームは、デフォルトでポート番号 "7770" を使用します。変更する場合は 14 行目の値を書き換えてください。設定されたポート番号が既に使われている場合はそれを検知し起動を中止しますが、念のため既に同じ PC で他の Web アプリを起動している場合、ポート番号が重複しないように注意してください。

```
12 [StartUpSetting]
13 ; AP Port of Edge Server
14 port=7770
15 ;; Default: 7770 Recommended usage range: 7750-7770 Only Integer range:6000-7999 available
```

表示言語の設定

デフォルトの表示言語は英語に設定されています。アプリの画面から設定することもできますが、デフォルトの言語を変更したい場合は 18 行目の値を ja (日本語) などに修正してください。

```
17 ; Default StartUp Language
18 lang=en
19 ;; lang=null : Use default setting
20 ;lang=ja
21 ;; Selecet from en, ja, it, es, ... (choose from AP+DN7 Selection)
```

起動時のブラウザ起動/ショートカット作成の設定

分析プラットフォームは、起動時に “start_ap.bat” のショートカットと Web ブラウザのショートカットを自動で生成します。必要に応じて 50-64 行目の該当の項目を 0 にすることで、この機能を OFF にすることができます。

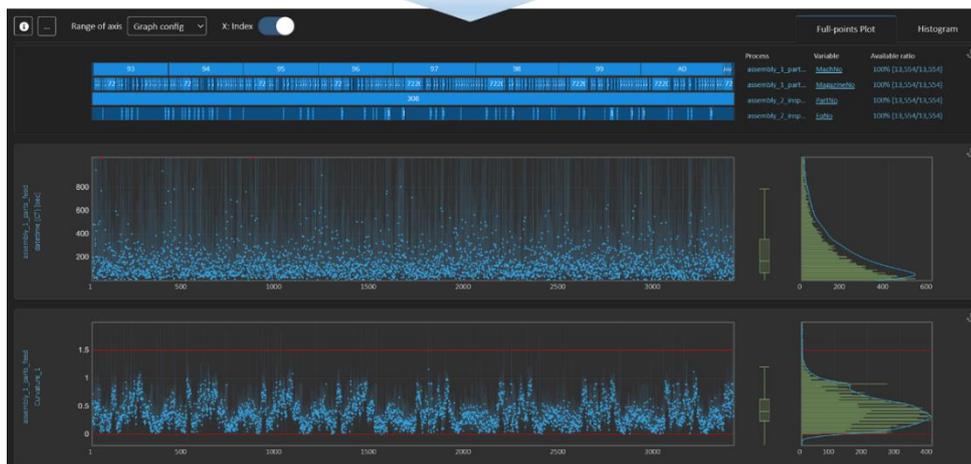
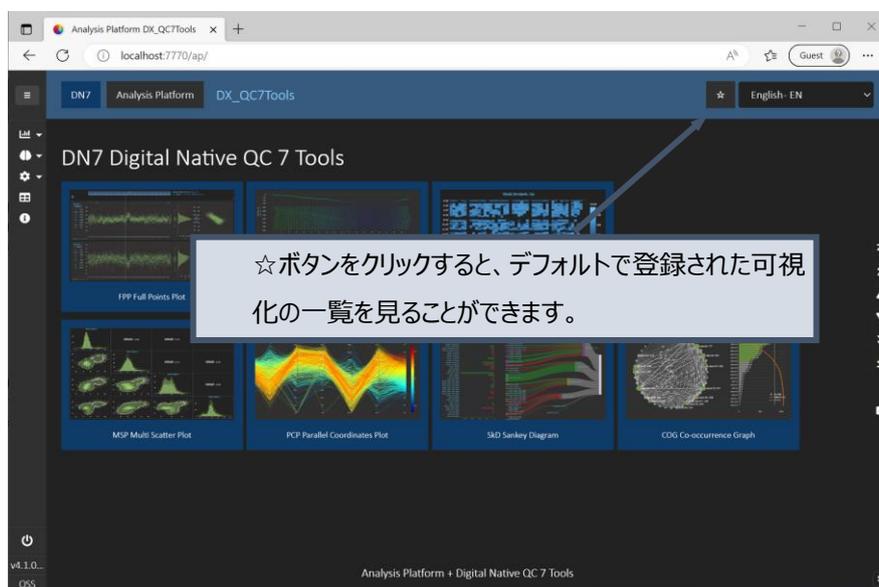
```
50 [BrowserLaunch]
51 ; Browser Launch 1:On 0:Off
52 launch_chrome=1
53 launch_edge=0
54
55 [ShortcutAdd]
56 ; Make Shortcut on DeakTop 2:Everytime 1:Just Installation 0:Off
57 ;; Analysis Platform
58 shortcut_app=1
59 ;; localhost
60 shortcut_web=1
61 ;; pc name For access from external PC (recommended)
62 shortcut_web_pc=1
63 ;; ip addr For access from external PC (when pc name access is not available)
64 shortcut_web_ip=1
```

ブラウザの起動に関する設定

ショートカットの作成に関する設定

5. サンプルデータの可視化

トップ画面右上の『☆』ボタンを押すと、アプリに同梱されているサンプルデータのサンプル設定を読み出すことができます。設定読出ページ内のいずれかの緑のボタンを押すと、それぞれの可視化ツールでデータの描画結果を見ることができます。



6. アップグレード

AP+DN7 はインストーラを使用することで、簡単にアップグレードが可能です。データの設定やブックマークなど各種設定内容を移行することができますので、さらなる機能の追加/バグ修正が施された最新バージョンをぜひご利用下さい。

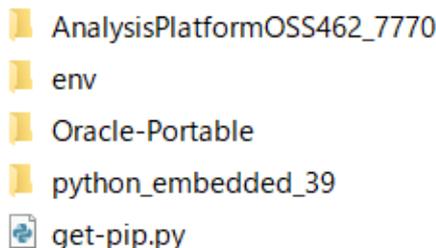
新しいバージョンに引き継がれる項目、引き継がれない項目

引き継がれる項目	各種設定: データソース設定 / プロセス設定 / 紐付設定 / フィルタ設定 / 表示設定 / ブックマーク
引き継がれない項目	読み込んだデータ → <u>アップグレード後、改めてデータが自動的に読み込まれます</u> (データソースフォルダ等が変更されている場合は読み込みません) startup.ini の設定: ポート番号、タイトル 等 → アップグレード後、“プロキシ/ポート番号/言語など起動時の設定方法 (オプション)” の節を参照し、必要に応じて設定を変更してください

6.1. 前提

アップグレード作業を開始する前に、次の前提条件を確認してください。

- インターネットに接続されているものとします
- AP+DN7 が、C:¥Analysis¥ap に格納されているものとします
 - インストーラを、特に追加の設定なしに使用された方は上記の前提を満たしています
 - もし違う場所にインストールしている場合、install.ini ファイルの path_main を修正してください。



C:¥Analysis¥ap のフォルダ構成の例

6.2. アップグレード実行

AP+DN7 の導入と同様の作業を行います。

次のバッチファイルのどちらかをダブルクリックで実行します。

- install_AP+DN7_OSS.bat: デフォルト言語=en(英語)
- install_AP+DN7_OSS_ja.bat: デフォルト言語=ja(日本語)

その後、AP+DN7 導入時と同様、黒い画面（コマンドプロンプト）が現れます。この画面の裏では、最新版の AP+DN7 の入手/ファイル展開が行われています。ファイル一式の入手とファイル展開/設定が行われています。しばらくすると「初期起動シーケンスが終了し、インストール作業に移行します。」のメッセージが表示され、自動的に画面が消えます。

```

C:\WINDOWS\system32\cmd.exe

Writing web request
Writing request stream... (Number of bytes written: 1761989)

Close this window (at any time) and restart after modifying 'install.ini'.
Startup settings can also be changed by editing startup.ini after install.
インストールオプションはinstall.iniを編集すれば変更できます。
このウィンドウを閉じ(いつでも閉じられます)、変更後、再起動してください。
AP+DN7の起動設定はインストール後にstartup.iniを編集しても変更られません。

Source Path: C:\WorkSpace\project\YAPDN7\installer\YAPDN7_installer\Y
Read install.ini File Settings:
path_main: C:\Analysis\Yap
path_data: C:\Analysis\data
path_conf: latest
lang: en
title: OSS Version
proxy: null
proxys: http
Create AN+DN7 Folders
Use Current Main Folder : C:\Analysis\Yap
Use Current Data Folder : C:\Analysis\data
Check Network Connection
Network is available. StatusCode: 200
GitHub Latest Release:
Download & Extract Zip File
    
```

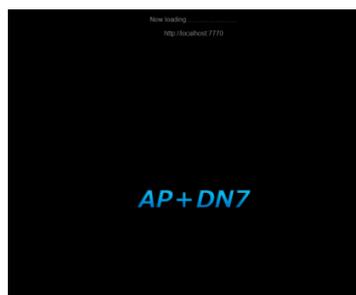
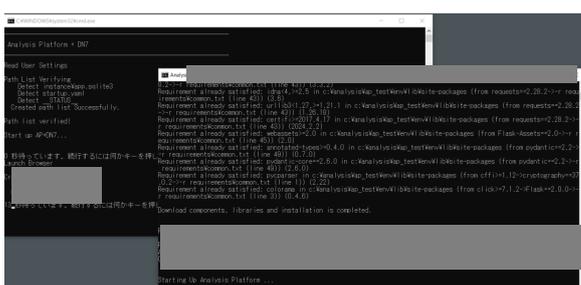
(少し待つ)

```

-----
The initial sequence has finished and it is moving on to installation.
This window will automatically disappear after a while.
初期起動シーケンスが終了し、インストール作業に移行します。
このウィンドウはしばらくしたら自動的に消えます。
-----
Waiting for 59 seconds, press a key to continue ...
    
```

正常に終了（黒い画面は自動的に消えます）

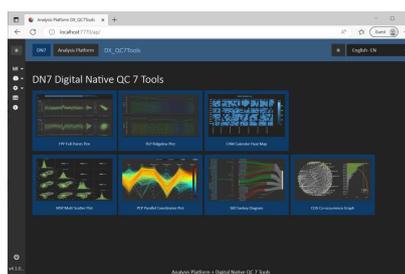
その後も AP+DN7 導入時と同様、正常に完了した後、自動的に AP+DN7 が起動します。以下のように黒い画面（コンソール画面）と、Web ブラウザが立ち上がります。しばらく待つと Web ブラウザに利用規約の画面が現れるので、利用規約をよく確認して頂き、『同意する』ボタンを押していただくアプリのトップページが表示されます（もし自動的に切り替わらない場合はブラウザの更新ボタンを押してください）。アップグレード後は引き継がれた設定をもとにデータを再読み込みするため、各種分析機能が完全に利用できるようになるまでしばらくお待ちください。



AP+DN7 を起動すると現れる黒い画面（コンソール画面：左）と起動画面（Web ブラウザ：右）

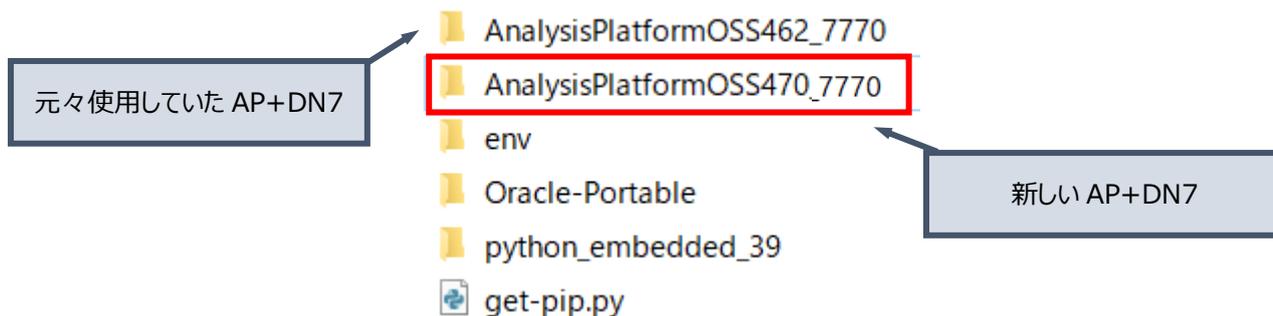


利用規約を読み、
同意ボタンをクリック



アップグレード後のフォルダ、ポート番号について

アップグレードを実行すると、C:¥Analysis¥ap に新しく AnalysisPlatform フォルダが作成されます。
本マニュアルの例では AnalysisPlatform470_7770 が作成されています。



アップグレード実行後の C:¥Analysis¥ap のフォルダ構成

※ 新しいバージョンがない場合、AnalysisPlatform462_7771 のように異なるポート番号でフォルダが作成されます。
対象データ/用途を分けたい場合にご利用下さい。

!!注意

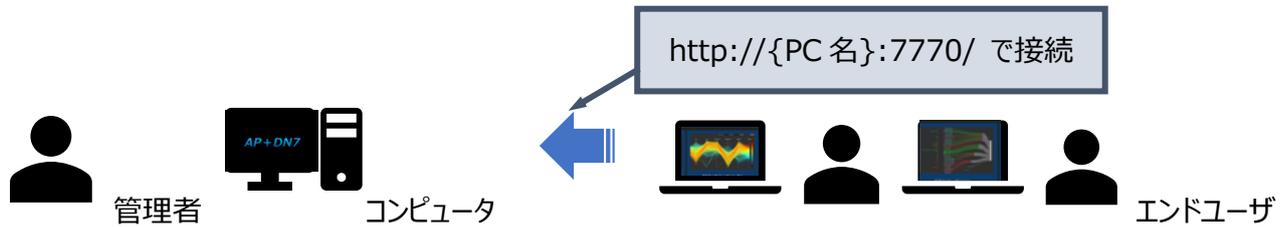
元の AnalysisPlatform フォルダ (本マニュアルの例では AnalysisPlatformOSS462_7770) の中に、現在お使い
いただいているアプリで読み込んだデータと設定内容が保存されています。**このフォルダは、新しいアプリ (AnalysisPlatf
ormOSS470_7770)での動作確認が充分にとれるまで削除しないでください。**

アップグレード作業の一例

例えば、サーバ等に起動した AP+DN7 があり、

複数名の関係者(エンドユーザ)がそれをノート PC から接続して日々データ分析を行っているとする。

ここでは、AP+DN7 の管理者が行う作業の一例を示します。



状況

- AP+DN7 バージョン 4.6.2 をポート番号 7770 で運用している (<http://localhost:7770/>)
- バージョン 4.7.0 がリリースされたので、アップグレードしたい

作業

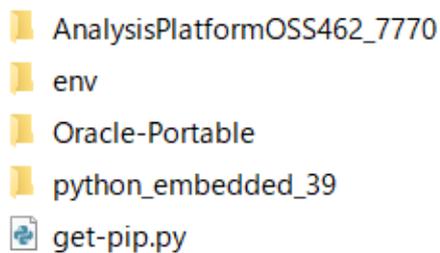
1. 旧バージョンの AP+DN7 を停止する
2. インストーラを使用して新しいバージョンを導入する
3. AP+DN7 の新バージョンがポート番号 7770 で起動する (<http://localhost:7770/>)
4. 新バージョンにデータが読み込まれるまで待つ
5. 新バージョンの動作確認を行う (任意でエンドユーザにも見て頂く)
この間、旧バージョンを使用する場合はポート番号を変更して使用する
6. 動作確認後、古いバージョンのフォルダ (AnalysisPlatform462_7770) は削除頂いても問題ありませんが、
1 世代は残しておく、予期せぬ不具合が発生した場合に旧バージョンへの避難がスムーズになります

7. アンインストール

AP+DN7 をアンインストールするには、以下の操作を行ってください。

導入時、環境変数やレジストリは変更していませんので、ファイルを削除するだけです。

1. デスクトップに生成されている AP+DN7 のショートカットを削除してください
2. C:¥Analysis¥ap に格納されているファイルを全て削除してください
3. C:¥Analysis が空であることを確認後、C:¥Analysis も削除してください



アンインストールする場合は、これらのファイルを全て削除

8. トラブルシューティング

8.1. AP+DN7 を手動でインストールする

GitHub から、ソースコードなど一式が格納されている zip ファイル入手できます。ダウンロード後、所望のフォルダ（本ページ下の!!注意を参照）に zip ファイルを移動させ、解凍してください。

<https://github.com/apdn7/AnalysisPlatform>

解凍後、以下のフォルダが現れます。

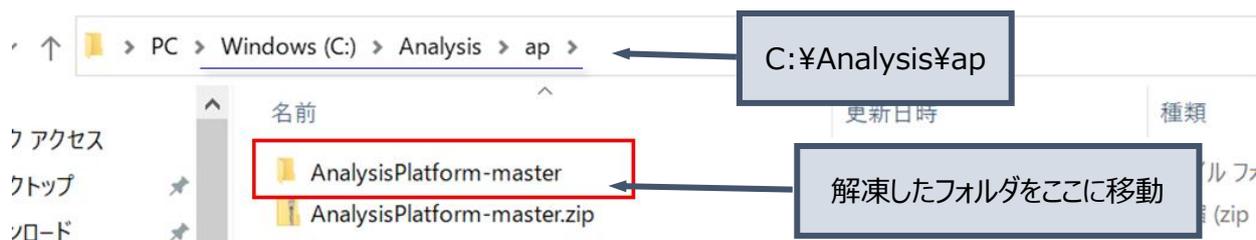
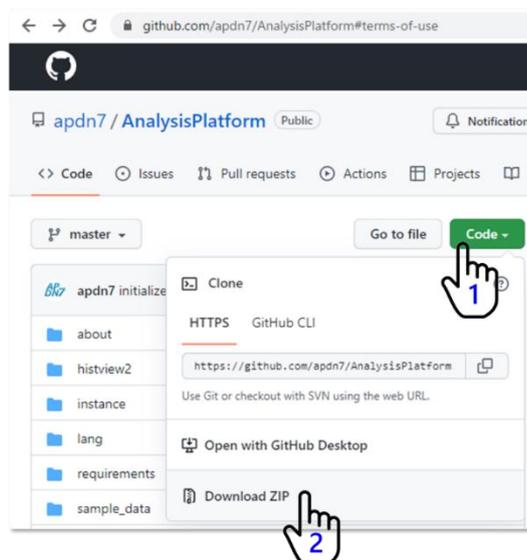
AnalysisPlatform-master

次に、"AnalysisPlatform-master" フォルダを、OneDrive 同期されていないフォルダに移動してください。

例えば、以下のフォルダを作成することを強く推奨します。

C:¥Analysis¥ap

これで AP+DN7 を起動するための準備は完了です。起動方法は 4 章を参照してください。

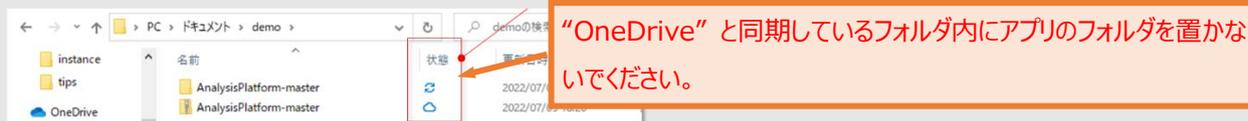


!!注意

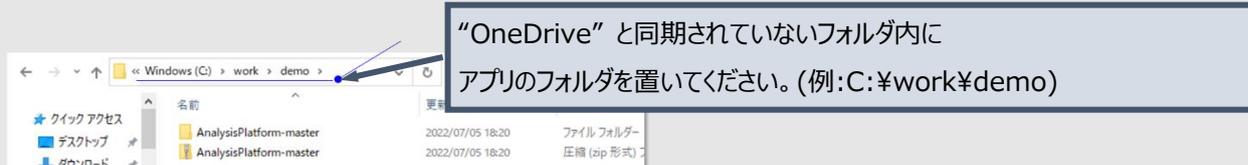
zip ファイルは OneDrive が同期されていない場所で展開してください。

分析プラットフォームは内部にバッファ用のデータベースを作成し高速なアクセスを行います。OneDrive の同期対象のフォルダに格納した場合、動作が極端に遅くなったり、ネットワークが過負荷状態になる恐れがあります（Web 画面を共有する機能はネットワーク負荷を下げるように設計されています）。トラブルの原因となりますので、OneDrive 同期は行わないでください（マイドキュメントやデスクトップなど OneDrive 同期を行っている場所を避け、同期外の場所に設置ください）。

NG



OK

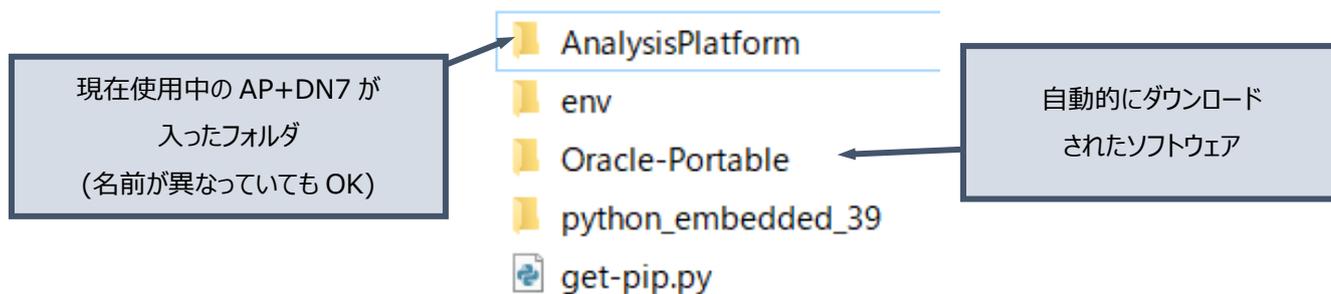


8.2. AP+DN7 を手動でアップグレードする

8.2.1. 前提

アップグレード作業を開始する前に、次の前提条件を確認してください。

- インターネットに接続されているものとします
- AP+DN7 が、以下のように格納されているものとします。



AP+DN7 フォルダ構成の例 (デフォルト: `C:¥Analysis¥ap`)

8.2.2. 新しいファイルの入手

新しい AP+DN7 のファイルを手に入れます。GitHub から、ソースコードなど一式が格納されている zip ファイルを手に入してください。ダウンロード後、所望のフォルダに zip ファイルを移動させ、解凍してください。

<https://github.com/apdn7/AnalysisPlatform>

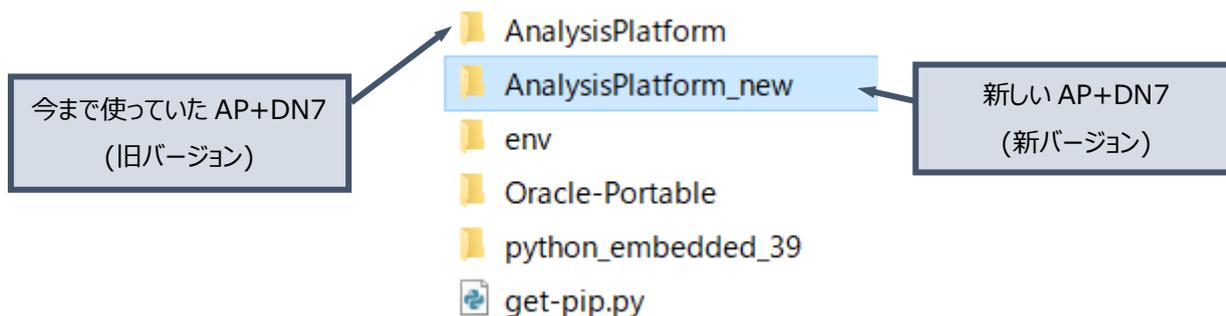
解凍後、以下のフォルダが現れます。

AnalysisPlatform-master

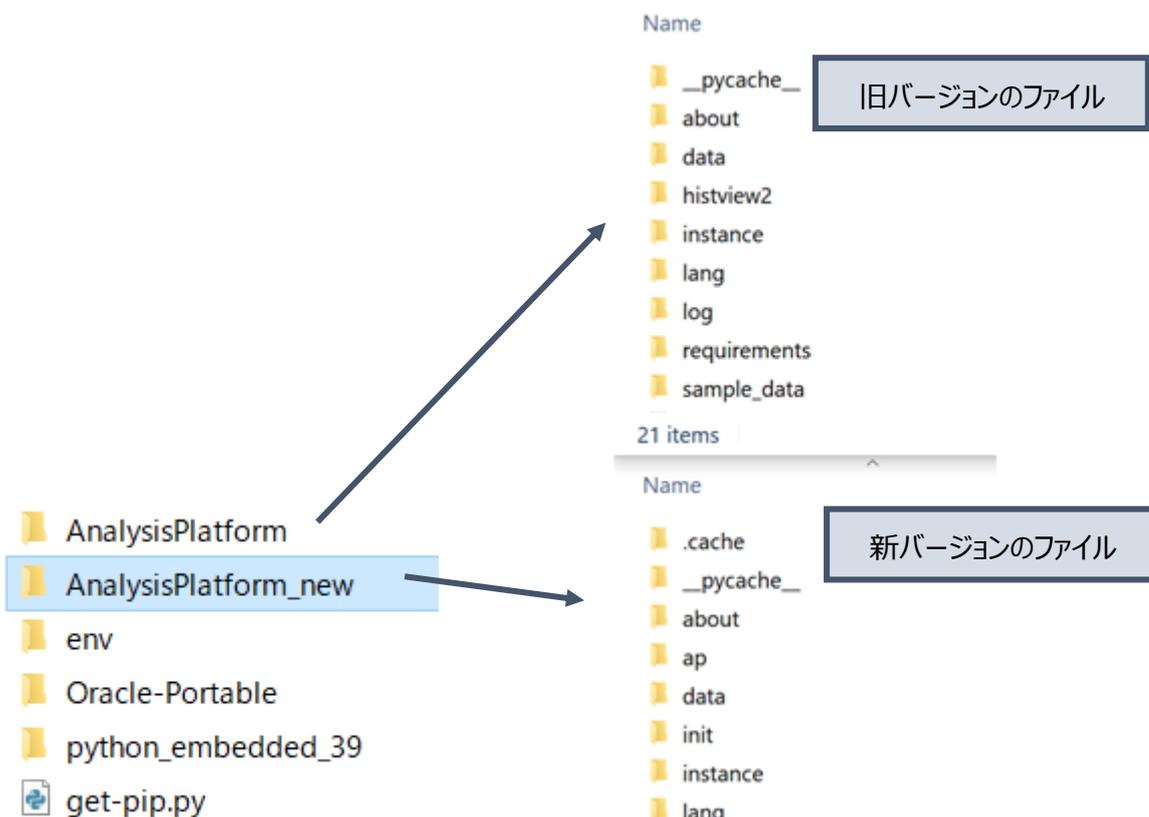
ここでは便宜上、分かりやすいフォルダ名に変更します。ここでは “AnalysisPlatform_new” としました。



次に、フォルダ名を変更した新しいアプリ（以降、新バージョン）を、今まで使っていたアプリ（以降、旧バージョン）と同じフォルダに移動してください。



新バージョンの設置後、以下のようなフォルダ構成になっていることを確認してください。“AnalysisPlatform”の中に旧バージョンのファイル、“AnalysisPlatform_new”の中に新バージョンのファイルが格納されています。これで新バージョンの入手と設置は完了です。



8.2.3. 設定の移行

旧バージョンで設定した内容を新バージョンに移行する方法を説明します。

設定内容はアプリのフォルダ内の “instance” フォルダ内に保存されています。

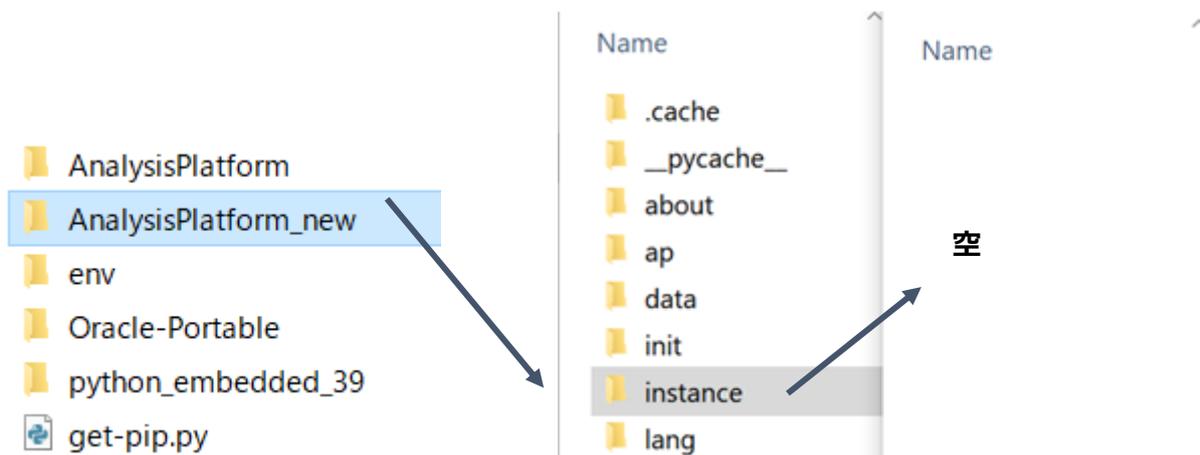
- app.sqlite3: 各種設定内容 (この内容を移行します)
- universal.sqlite3: 読み込んだデータ

!!注意

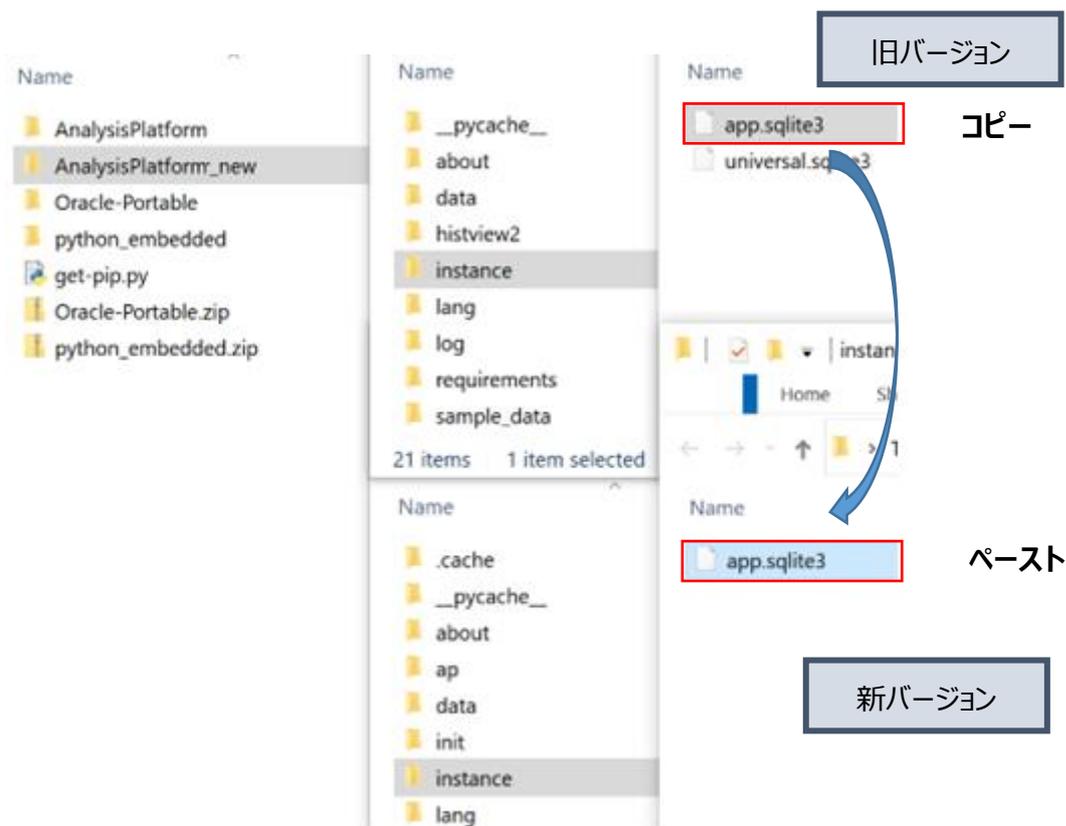
AP+DN7 は処理の高速化のため、読み込んだデータが格納されている “universal.sqlite3” の構造が大きく変更されることがあります。そのため、“universal.sqlite3” は直接移行することができません。設定を移行した新バージョン起動後に自動的にデータが再読み込みされます。

まず、**新バージョンの** “instance” フォルダ内が空であることを確認してください。

空でない場合、中身を全て削除してください。旧バージョンのファイルを削除しないよう十分に注意してください。



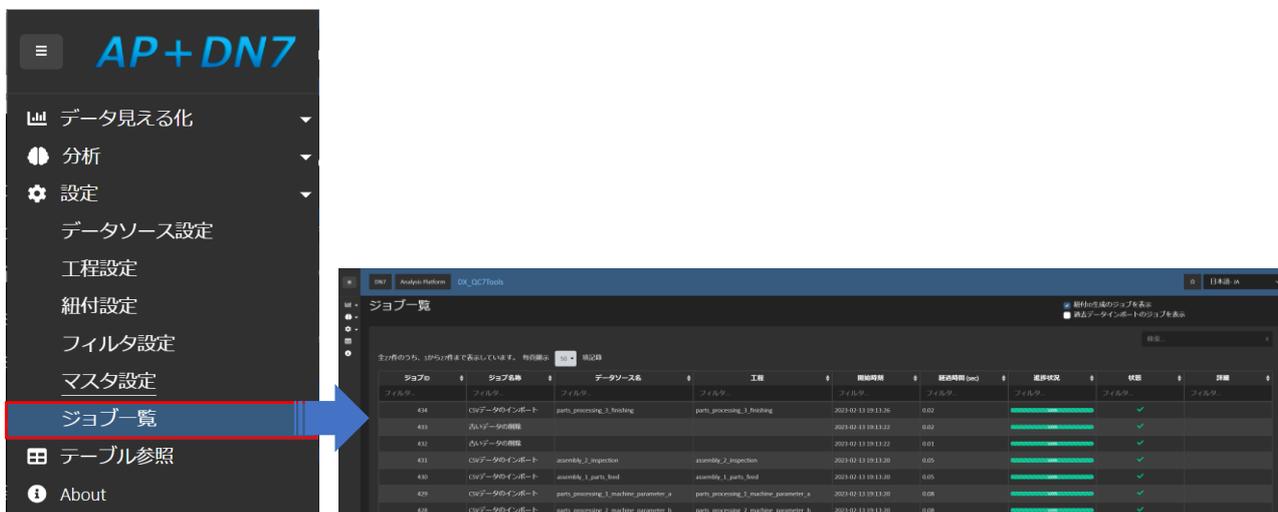
次に、旧バージョンの “instance” フォルダ内にある “app.sqlite3” を、
新バージョンの “instance” フォルダにコピー&ペーストしてください。



最後に、必要に応じてポート番号/デフォルト言語などの起動設定を引き継ぎます。そのため、旧バージョンの “startup.ini” ファイルの設定内容を新バージョンに転記してください。設定内容は、本マニュアル “ポート番号/プロキシ設定/デフォルト言語などの起動設定(オプション)” の節を参照してください。

8.2.4. 新バージョンの起動

各種設定の移行が完了したら、新バージョンの AP+DN7 を起動してください。起動方法は本マニュアル “アプリの起動/停止” の章を参照してください。分析プラットフォーム起動後、移行した設定内容に基づいて自動的にデータの読み込みが開始されます。データ読み込みの進行状況は、アプリのサイドバー > 設定 から “ジョブ一覧” を開くと確認することができます。以上で、AP+DN7 を手動でアップグレードは完了です。



データを再読み込みするため、データ量によっては完了までに時間がかかります。

直近のデータから順次読み込むため、最近のデータは比較的早い段階で分析を開始することが可能です。

!!重要

旧バージョンのフォルダは、新バージョンでの動作確認が完了するまで削除しないでください。

動作確認のために旧バージョンと新バージョンで使用するポート番号を違うもの（例：7750, 7769）に設定しておき、データ移行後はどちらも起動することをお勧めします。しばらくの間両方のバージョンを起動しておき、新バージョンでの問題発生時にいつでも旧バージョンを使用できる状態にして頂くにより安全にご利用頂けます。

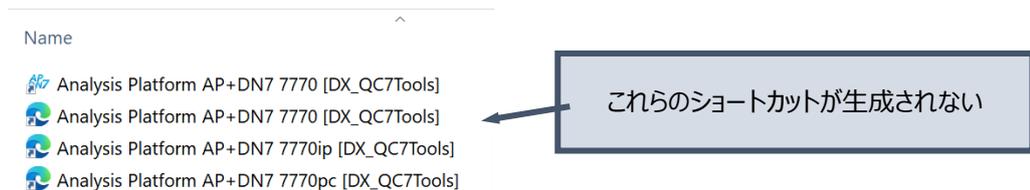
8.3. 起動時のトラブル

8.3.1. “start_ap.bat” と Web ブラウザのショートカットが生成されない

お使いの PC 環境によっては、AP+DN7 起動時に以下のショートカットが生成されない場合があります。

- start_ap.bat: AP+DN7 を起動するために使用するバッチファイル
- Web ブラウザ: 起動した AP+DN7 を Web ブラウザで開くためのショートカット

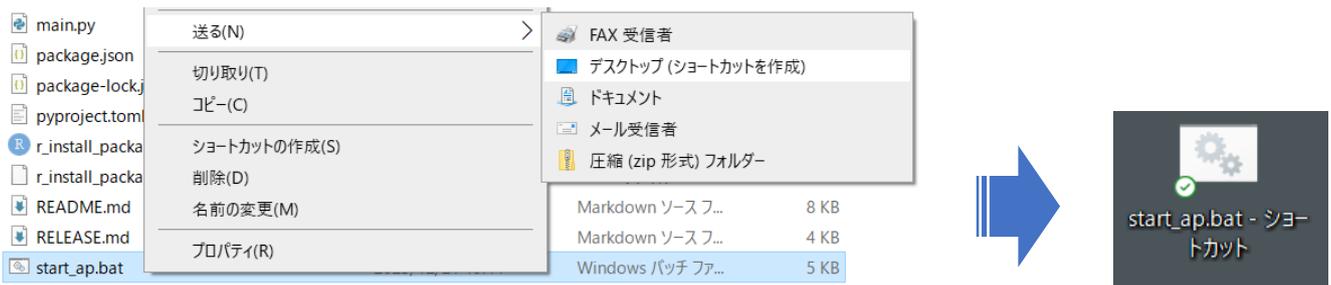
ショートカットを利用する場合、次の手順で作成してください。



“start_ap.bat” のショートカットを作成する

AP+DN7 を格納したフォルダを開いてください (この資料では、C:¥Analysis¥ap¥AnalysisPlatform)。

フォルダ内の “start_ap.bat” に対して右クリック > 送る > デスクトップ(ショートカットを作成) を行うと、デスクトップにショートカットが作成されます。

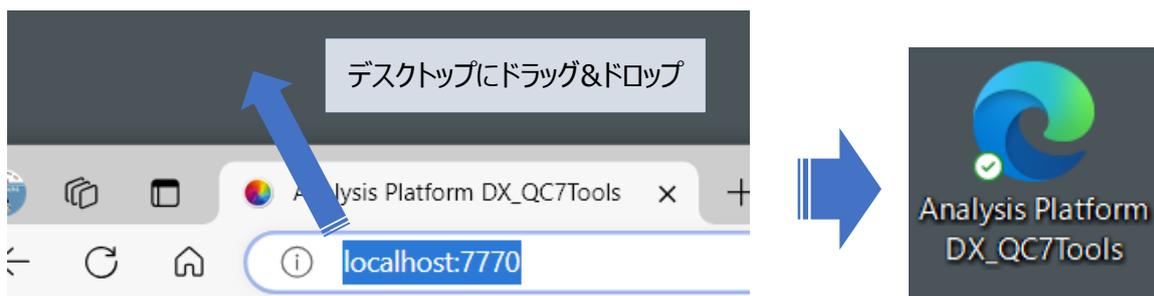


Web ブラウザのショートカットを作成する

<http://localhost:7770/> のショートカット

まず、ブラウザのアドレスバーに <http://localhost:7770/> と入力し、起動した AP+DN7 に接続してください。

次にアドレスバーの文字列を全選択して、デスクトップにドラッグ&ドロップしてください。これで、ご自身の PC で起動した AP+DN7 にご自身の PC から接続するためのショートカットが作成されました (ブラウザのお気に入り機能で代用可能です)。

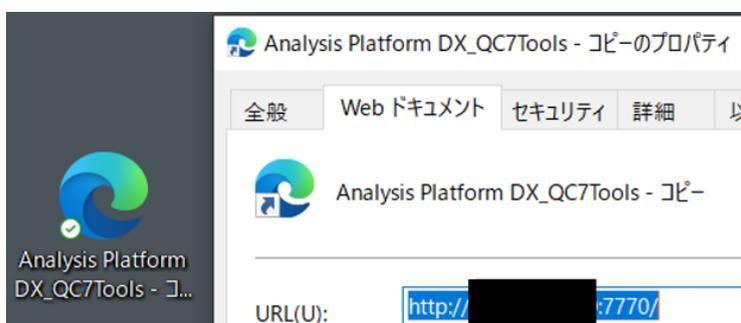


http://PC名:7770/ のショートカット

次に、デバイス名（PC名）で AP+DN7 に接続するためのショートカットを作成します。ご自身のデバイス名は、Windows のタスクバーの虫眼鏡アイコンをクリック > 名前と入力 > PC名を表示するを開く > “デバイス名” から確認することができます。



次に、さきほど作成したブラウザのショートカットを複製（コピー&ペースト）してください。右クリックしてプロパティを開き、“URL” の項目を http://PC名:7770/ に修正して “OK” をクリックしてください。念のため、起動した AP+DN7 に接続できるか確認してください。



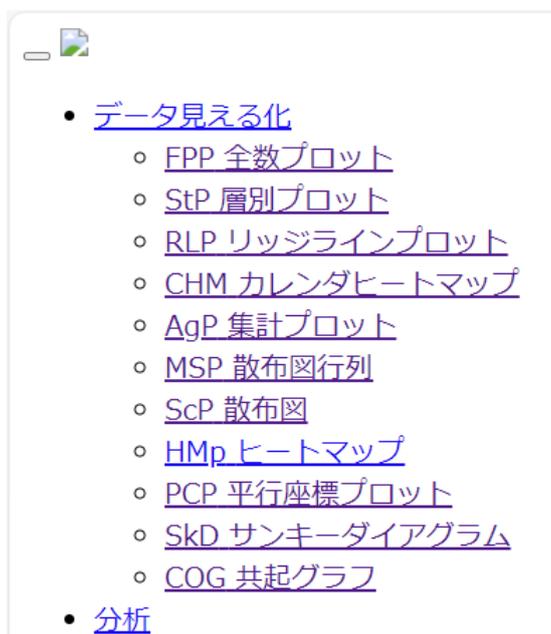
http://IPアドレス:7770/ のショートカット

最後に、IPアドレスで AP+DN7 に接続するためのショートカットを作成します。ご自身の IP アドレスは、Windows のタスクバーの虫眼鏡アイコンをクリック > cmd と入力 > コマンドプロンプトを開く > ipconfig と入力し、Enter キーを入力することで確認することができます。デバイス名を設定したショートカットと同様に、ショートカットのコピーを作成 > 右クリックしてプロパティを開き、“URL” の項目を http://IP アドレス:7770/ に修正して “OK” をクリックしてください。念のため、起動した AP+DN7 に接続できるか確認してください。



8.3.2. AP+DN7 を起動後、ブラウザに白背景、文字だけの画面が表示される

AP+DN7 起動時、ブラウザに次のような画面が表示される場合があります。しばらくお待ちいただいた後 (AP+DN7 が起動した後)、ブラウザの更新ボタンをクリックしていただくと正常な表示に戻ります。※ブラウザのキャッシュが原因であり、AP+DN7 を停止後すぐ起動した際に発生する場合がありますことを確認しています



白い背景に、文字だけが表示される

8.3.3. “ポートが開いていません” というエラー画面が表示される

同じポート番号で、複数の AP+DN7 を起動した場合に発生します。“This port number is already used” という画面で OK をクリックすると、新しく起動した黒い画面が消えます。

よくあるケース

- 既に AP+DN7 が起動しているにも関わらず再び起動した場合
 - 引き続き以前起動した AP+DN7 をお使いいただけます
- 同じ PC に複数の AP+DN7 を立ち上げたい場合
 - ポート番号の変更が必要です。4.3 節を参照して設定を変更してください

